

# 安心して暮らせる地域のために ～民生委員・児童委員の活動

保健福祉センター健康福祉総務課地域福祉係 ☎(260)5604 ㊟(262)0999

民生委員・児童委員は「住民の身近な相談相手」「専門機関へのつなぎ役」

民生委員は100年を超える歴史があり、地域の身近な相談相手として長年活動してきました。民生委員は子どもや子育てを支援する児童委員を兼ねており、大和市では277人の民生委員・児童委員が、11の地区民生委員児童委員協議会に分かれて活動しています。うち22人は、児童に関することを専門的に担当する主任児童委員です。  
※厚生労働大臣から委嘱される非常勤特別職の地方公務員で、ボランティアで活動しています。

### 民生委員・児童委員の主な活動

- 高齢の一人暮らしの人や障がいがある人などへの訪問や見守りを行います
  - 生活の心配事や困り事の相談を受けます
  - 必要に応じて市役所や専門の関係機関につなぎます
  - 子育てサロンなど、地域の人が集う場を運営します
- 自分の地域の民生委員・児童委員を知るには  
保健福祉センター健康福祉総務課 地域福祉係 ☎(260)5604 へお問い合わせください。

## 大和市民生委員児童委員協議会会長 金子直勝さんへインタビュー

Q 民生委員になったきっかけを教えてください

A 定年までは働きづめで、3人の子どもの相手をするのも難しい毎日でしたが、地域で何か役に立つことをしたいという気持ちを持っていました。定年退職後、民生委員にならないかと声をかけてもらいました。民生委員のことも福祉のことも全然分かりませんでした。二つ返事で引き受けました。相手のほうが驚いていましたね。福祉の知識がない普通の市民でも、気持ちがあれば活動できると思います。

Q 気軽に民生委員に相談してもらっために、どんな活動をしていますか

A まずは、私たち民生委員の存在と役割を知ってもらうことです。そのためには口コミが一番なので、地域のイベントなど、できるだけいろいろな場所に顔を出しています。私が担当する下鶴間地区では、公園パトロールとして公園にいる親子に声をかけたり、子育てサロンを紹介したりしています。もちろんすぐに相談につながるものはありませんが、顔見知りになることが信頼関係を築く第一歩だと思っています。

Q 今はさまざまな世代が社会から孤立する可能性があります。民生委員・児童委員の役割はますます大きくなっていくと思います。会長から市民の皆さんへメッセージをお願いします

A 相談することに対して負い目を感じる人がいるかもしれませんが、民生委員は専門機関へのつなぎ役で、解決する立場ではありません。困り事があるのはごく普通のことなので、相談をためらわないでください。それから最近、うれしいニュースを耳にしました。全国民生委員児童委員連合会の調査で、民生委員になってみたいと思う人の割合が一番高い世代が10〜20代だったんです。民生委員は100年以上の歴史ある制度で、この先も長く続いていきます。これからは、より若い世代が民生委員として活躍し、温かく活気ある地域を築いていくてくれればうれしく思います。

大和市民生委員児童委員協議会

金子直勝 会長



## 活動紹介

各地区の民生委員児童委員協議会では、住民の居場所作りとしてさまざまな活動をしています。

### 下鶴間地区「ぴよんぴよんくらぶ」



年間30回程度開催している子育てサロン。多くの知り合いができるため、子どもが成長した後、近くに仲間がいる安心感につながっています。かつてここで遊んでいた子どもが母親として参加することも。

母親も子どもも自然と仲間が増えます

### 和田地区「生き生きふれあいサロン」

70歳以上の地区内在住者を対象にしたサロン。情報提供や交流の場であるとともに見守りの役割も果たしています。健康講座や落語などのイベントも好評で、毎回150人ほどの参加者でにぎわっています。



近所の仲間と楽しいひとときを過ごします

ある民生委員・児童委員の活動記録

- 2日 高齢の一人暮らしの人を訪問
- 4日 電話で福祉サービスの相談を受ける
- 8日 子育てサロンに参加し、母親や子どもと交流
- 13日 地区民生委員児童委員協議会の定例会に参加
- 15日 小学生の登下校時の防犯パトロールに参加
- 19日 高齢の人を対象としたサロンのイベント準備



私のある1か月間の活動を紹介します

- 24日 生活に困っている家庭を訪問し、社会福祉協議会の窓口につなぎます
- 28日 児童相談所から見守りを依頼されている親子を訪問
- 31日 県民生委員児童委員協議会の研修に参加

